

おだがいさま

odagaisama

100号
令和4年
6月1日発行



第六学区コミュニティネットワークが運営（空き家活用事業）する「はろ〜くらぶ」は、誰でも参加できる自由な居場所、憩いの場です。

施設の愛称

「はろ〜くらぶ」の由来

- ・はろ〜 こんにちほ
- ・る〜く 六学区
- ・らぶ 愛着、助け愛、支え愛、であい、六学区への愛

令和4年度 事業計画と予算

鶴岡市社協3計画（地域福祉活動計画、発展・強化計画、事業経営計画）の進行管理（2年次）に努め、それぞれに示された課題に計画的に取り組みます。今年度、重点的に取り組む事業を紹介します。

5つの主な取組

1 法人運営の充実・強化（総務課・職員厚生課）

- ・安定的かつ自立した財源基盤を確立するため事業分析・評価を実施し、中長期的視点からの事業計画を立て、経営基盤の強化を目指します。
- ・分散している本部事務局の管理機能を統合し、法人事務の効率化とガバナンスの強化を図ります。本部事務局移転整備を計画的に実施し、令和5年4月の新事務所稼働を目指します。
- ・「発展・強化計画（第3期）」の年次計画に基づき、PDCAサイクルを意識し、効果的な計画の推進を図ります。



藤島福祉センター「農福連携プロジェクト事業」

2 地域福祉活動の推進（地域福祉課）

- ・対象者の属性を問わない相談支援・多様な参加支援・地域づくりに向けた支援を一体的に行う「重層的支援体制整備事業」の移行準備事業として、鶴岡市社協が地域包括支援センターを受託している3つの地域で実施します。
- ・「第3次地域福祉活動計画」の取組を年度ごとの評価に基づき推進します。また、地域ごとに策定した「地域支え合いプラン」の推進、活動支援に取り組みます。



温海デイサービスセンター愛寿園 通所型サービスAの様子

3 生活支援事業の推進（生活支援課）

- ・判断能力に支障がある方の福祉サービス利用や日常的な金銭管理等の支援、財産管理や身上監護の成年後見等の支援に努めます。
- ・既存の制度では支えきれない方に対する新たな支援の仕組みについて継続して検討します。

4 高齢者福祉・障がい者福祉事業の推進（事業推進課）

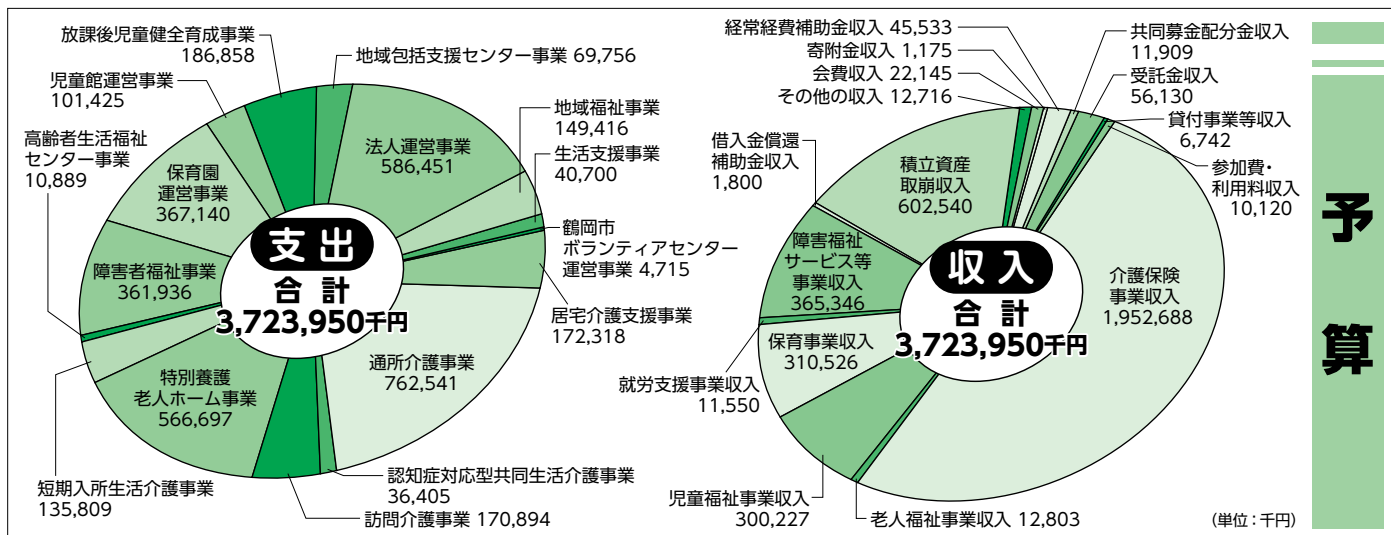
- ・「第三期事業経営計画」の重点課題に基づいた取組を計画的に進めるとともに、各事業の経営状況の分析や評価をしながら今後の事業展開について検討します。
- ・感染症対策委員会を新たに立ち上げ、新型コロナウイルス感染症等、感染予防対策の強化を図ります。



鶴岡西部放課後児童クラブの様子

5 児童福祉事業の充実（総務課）

- ・鶴岡西部放課後児童クラブの登録児童増加に伴い、鶴岡市担当課と連動しながらクラブ室の増築を計画的に進め、2支援単位での受け入れを開始します。



予算

まちづくりはここから! 地域支え合いプラン

「地域支え合いプラン」をもとに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくりのため、各地域で様々な取組が行われています。今回は第五学区と斎地区の取組の内容をご紹介します。

第五学区

学区の特徴 市街地の北東に位置しており、鶴岡駅を含み赤川沿いに広がる学区。赤川河川敷の桜並木や同地内で開催される赤川花火大会が有名。

人口 8,606人 世帯数 4,076世帯
(令和4年3月現在)

プラン① やさしい人づくり

・住民座談会の開催や福祉学習の推進、福祉見守り安心カードの活用など

プラン② 助け合う仕組みづくり

・福祉協力員活動の推進やお茶のみサロン開催の促進、福祉・防災マップの作成、更新など

プラン③ 温かい環境づくり

・住民主体の見守り支え合い活動で関係団体と連携強化を推進、福祉研修会の開催やボランティア協議会の充実など



講師の千川原公彦氏



防災について学ぶ福祉研修会

コロナ禍で各町内会の自主防災訓練を中止せざるを得ない状況にあるため、地域住民の防災意識の希薄化が懸念されています。そうした中で、令和三年度は防災をテーマに、全国の被災地で災害支援活動をされているウエザーハート災害福祉事務所の千川原公彦氏を講師に迎え、「福祉研修会（ボランティアの集い）」を開催しました。避難所生活をゲーム感覚で学んだ参加者からは「避難所生活を送る上での備えや避難する際に何を持ち出したらいかなど勉強になった」といった感想が聞かれ、今回の研修会が改めて防災への意識を高めるとも良い機会となりました。

防災意識の再確認

コロナ禍のためにやむなく休止しているサロン等もありますが、孤立防止・見守り活動等につながる集いの場であり、身近な地域の中で、誰かと会って楽しい時間を過ごすことができる場として、今後も継続して取り組むこととしました。



お茶のみサロン活動について様々な課題が挙げられました

コロナ禍でのサロン活動について話そう!

斎地区

地区の特徴 鶴岡市中心部の南東に位置し、7地区から形成される。赤川に隣接する地区であり田畑が多い。「雪の降るまちを」発想の地。

人口 2,049人 世帯数 744世帯
(令和4年3月現在)

プラン① ほっとカフェ（認知症カフェ）

・認知症、介護に関する相談を実施
・認知症についての啓発 ・多世代交流

プラン② サロン活動等の充実

・サロン活動や介護予防の場（いきいき百歳体操など）について住民へ啓発を行う
・健康増進や介護予防の重要性を周知する

令和三年度、救急安心カードの新たな活用方法に向けた話し合いを行い、令和四年度から設置対象を拡大して運用します。これまでの六十五歳以上一人暮らし世帯（二十八世帯に設置）に加え、同居家族がいても日中一人になる高齢者がいる世帯などで設置を希望する全住民を対象とします。取組の詳細については、今後、斎地区社協広報でお知らせすることとしています。

救急安心カードの設置対象を拡大

斎地区では、ほっとカフェの開催を通して認知症への理解を深めたり、サロン活動を充実させ健康増進を推進することを取組のひとつとしていましたが、コロナ禍で開催を断念せざるを得ませんでした。そうした中、令和三年十一月に一人暮らし高齢者の皆さんに、例年実施しているそば配食サービスを行いました。これは、八ツ興屋そば組合の協力を得て打ち立てのそばを住民会長や民生児童委員が届けるものです。そばを受け取った皆さんからは「毎年楽しみだ、ありがたの」と喜びの声が聞かれました。住民会長や民生児童委員が個別訪問して届けることで、地域の見守り活動の一役を担っている大切な事業となっています。



見守り活動を兼ねたそば配食サービス

そば配食で高齢者の見守り支援

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会 職員募集

令和5年度正規職員採用試験
(令和5年4月1日採用予定)

■受験資格

昭和48年4月2日以降に生まれた方で、下記のいずれかの資格・免許を取得している方、または、令和5年4月末までに取得、修了見込みの方
○社会福祉士 ○精神保健福祉士 ○介護福祉士
○介護支援専門員 ○保育士 ○保健師 ○看護師
○准看護師 ○理学療法士 ○作業療法士

■採用予定数 若干名

■試験日

一次試験 作文試験 令和4年7月31日(日)
二次試験 面接試験 令和4年8月20日(土)

■試験会場

鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる

■募集要項・申込書等

- ・募集要項は、事務局職員厚生課で交付します。
- ・本会ホームページからもダウンロードできます。
- ・郵便で請求する場合は封筒に「職員募集要項請求」と朱書きし、宛先を明記した返信用封筒(角形2号、140円分切手貼付)を同封して、下記まで請求して下さい。

■募集期間

令和4年6月6日(月)～令和4年7月8日(金)
午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く)
※郵送の場合、7月8日(金)までの消印有効です。

連絡先

〒997-0033 鶴岡市泉町5番30号
鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
事務局職員厚生課 TEL(0235)24-0053



赤い羽根募金 配分施設・団体のお知らせ

令和3年度に皆さまからご協力いただきました赤い羽根共同募金は、令和4年度の地域福祉推進のため施設や地域で行われる活動に役立てられます。

<本市の福祉施設・団体への配分総額：5,065,000円>

配分団体	
地域福祉 在宅福祉事業	湯野浜地区社会福祉協議会
	NPO 法人明日のたね
	NPO 法人しえば
	自立支援センターふきのとう
	鶴岡市災害ボランティアネットワーク
	山形県盲ろう者友の会
	鶴岡地区障害者通所施設協議会
「福祉の心」 推進事業	(福)新形愛育会 新形保育園
障がい者 小規模作業所 支援事業	NPO 法人鶴岡福祉村 障害者支援オフィス「ひので」
民間立 学童保育所 支援事業	第一学区学童保育所 海の子
	第一学区学童保育所 花の子
	第三学区学童保育所 こどもの家
	第四学区学童保育所 太陽の子2
	第五学区学童保育所 風っ子クラブ
	大山放課後児童クラブ 第一はらっぱ
	大山放課後児童クラブ 第二はらっぱ
福祉車両 整備事業	NPO 法人一歩 (福)かくほう

ご寄付ありがとうございました みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和4年3月5日から令和4年4月30日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ
・鶴岡カラオケ「心の会」様 30,000円

◎朝日福祉センターへ
・あさひ婦人の会 様 金一封

★鶴岡福祉センターへ
・東洋羽毛北部販売(株) 福島営業所 様
プロテクトローション 20本、
ハンドクリーンスプレー 48本

★櫛引福祉センターへ
・鶴岡市立櫛引中学校 様 8,008円

★温海福祉センターへ
・五十嵐 光雄 様 50,000円

★はちもりへ

・堅若沢婦人会 様 手作り新聞紙袋 442枚

★くしびき南部保育園へ

・加藤 正美 様 鯉のぼり1セット

・西荒屋老人クラブ 様 タオル 22枚

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

・イオンモール三川 田中 秀和 様

コードレス掃除機 1台

★もみじが丘へ

・イオンモール三川 田中 秀和 様

消毒等衛生用品、アイロン、

スケール、色鉛筆等

★フードバンクへ

・水澤化学工業(株) 水沢工場 様

乾パン(60食入)1箱、水(24本入)1箱

・くろかわ農人 様

ドライフルーツ庄内柿 32パック

・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)

山形テクノロジーセンター 燦活動 様

食料品 70点

お詫言ひと訂正
第99号 P4「★一般社会福祉事業へ
◎朝日福祉センターへ・あつみ観光協
会 温泉支部様 パック米 116食」は「◎
温海福祉センターへ」の誤りでした。
お詫びして訂正いたします。

おだがいさま

第100号
令和4年6月1日発行

発行部数 47,800部



編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる 2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114



この広報誌は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源に発行しています。